

デイトナ不動産

NEWS02

鉄骨の素材感が個性的で元気な会社をつくる!?
デイトナハウスのオフィスビルも誕生!!

ともすれば、白いビニールクロス壁面で単調になりがちなオフィス空間ですが、鉄骨の梁や柱を露出させることで、リズム感のある元気な職場空間を作ることができます。ロフトと呼ばれる空間でアバンギャルドな芸術活動が生まれたように、頭の働きを活性化し、集中力を持続させる空間性と言えるのかもしれません。

デイトナハウス北海道が建築を進めていた「KS社ヘッドオフィス」もこのほどオープンしました。この建物は保険会社の本社ビルで1Fはセミナースペース、2Fは同社のオフィス空間という構成になっています。艶消し黒の鉄骨がオフィス空間でも露出して、空間に程よいメリハリを与えます。無味乾燥な真っ白いビニールクロス貼り空間とは違う、緊張感と素材の優しさが漂う空間。オフィス空間でもLGSシステムの評判は上々です。訪れる人も、この会社のリズム感を空間から感じるようになるのです。まさに元気な会社のイメージの表現にぴったりです。

外観は、直線的に連続するスチールフレーム開口が特長。その直線性にアクセントを与えているのが縦に伸びるガラス壁面。若干屋上側に突き出して十字の直線交差になっているのがデザイン上のキモです。この部分には上階へ上がるらせん階段のぞきま。夜になれば、らせん階段をライトアップ。余分な看板がなくても、道路から見える存在感を十分アピールできる効果を発揮しています。1Fのセミナールームの一部としてバーカウンターも設置。今後オフィス空間でのデイトナハウスの活用の可能性を予感させる建築なのです。



デイトナ不動産

NEWS03

高床式の企画住宅“Spiky FLAT”
出雲、相生を皮切りに各地で建築スタート!!

本誌317号でご紹介した高床式の企画住宅「Spiky FLAT」が全国各地に実施決定しています。

まず島根県出雲市、兵庫県相生市です。続いて北九州市、静岡県湖西市、愛媛県西条市、北海道室蘭市でも、実施に向けた設計が始まっています。間もなくこの連載ページでも、完成した様子をご紹介できることでしょう。空中にふわりと浮かび上がった高床式の平屋。そのフォルムの美しさを是非ご覧いただきたいと思います。そのスタイリングにはミッドセンチュリースタイルのエッセンスが散りばめられています。銅管杭を地上に露出させてシャシーのような鉄骨土台を載せて作るデイトナハウス独自の工法。外観の縦横比率もデザインの重要な要素です。



出雲ですでに鉄骨製作過程に入っている実施物件のCG。1Fの床が地上から約60～80cm浮かび上がるのが最も美しい。伸びやかな底のラインがこのデザインの信条。底の見付や破風板が厚くなるとデザインのバランスが崩れるので、要注意なのです。

デイトナハウス初のショールーム空間が、先ごろ遂にオープン致しました。この建物は、1Fがショールームとカフェ、2Fがデイトナハウス北海道の本社という構成になっています。この建物の特長はいろいろありますが、まず目に付くのがそのカラーリング。マットホワイトのバ

ウダーコーティングされた鉄骨パネルで構成している点です。デイトナハウスは艶消し黒の鉄骨イメージが主流ですが、実はこの艶消し白の評判も上々なのです。室内はジャングルのように多数配置されたインナーグリーンが来る人に潤いを与えてくれるのですが、白色鉄骨との相乗効

果も素晴らしいものです。ナチュラルな潔さが空間から感じられて、独特の雰囲気を作り出しています。ショールームではスタイリッシュな生活雑貨を販売。電気のスイッチやドアノブなど、ちよつとした味付けで建物への愛着は持続するもの。ここはそんなヒントを与えてくれる

DAYTONA HOUSE
HOKKAIDO
(WEST HOMES)

北海道苫小牧市清水町2丁目1-2
0144-38-5800 www.dhlh.jp



ショールームでは、スイッチ、コンセント、ドアノブをはじめとする空間演出のアクセサリや、ガラスやタイル類などのスタイリッシュな生活雑貨を販売しています。どれもが空間とマッチして、時間の経つのを忘れるほど、遊び心を開放できる楽しいスペースです。



ショールームでは、スイッチ、コンセント、ドアノブをはじめとする空間演出のアクセサリや、ガラスやタイル類などのスタイリッシュな生活雑貨を販売しています。どれもが空間とマッチして、時間の経つのを忘れるほど、遊び心を開放できる楽しいスペースです。



デイトナ不動産

NEWS01

ライフスタイルのヒントが満載!!
デイトナハウス北海道の
ショールーム&カフェOPEN

北の国の白い鉄骨ショールームが遂に完成。スタイリッシュな生活雑貨と骨組み露出空間の相乗効果が楽しめる場所になっています。



カフェスペース(左)は、素材感のある壁と落ち着けるベンチソファがさりげなくミッドセンチュリーデザインを感じさせてくれます。ショールーム(右)は生活雑貨と鉄骨の素材感の競演を楽しむことができるスペースです。どちらの空間も、天井の黒いコンクリート板(Gスラブ)がコントラストを効かせて、鉄骨梁の緊張感と素材感を際立たせていることがよくわかります。

場所になっています。併設されている「Cafe LIVENE」では、ゆったりとお茶を飲みながらLGSのメリハリある空間を楽しめます。この建物のもう一つの特長はLGSシステムの居住性能を体感できることです。フェノール系断熱材という高性能素材で外断熱された空間は、まるで魔法瓶のさながら。開口部が非常に多いショールーム内部も、寒くないどころか、適切な換気を取って気持ちいい空気を味わっていたことができます。

構造的には3スパンの柱のない空間を成立させるために、トラス梁を多用しています。これが天井の黒いコンクリート版Gスラブと相まって、適度な緊張感と優しい素材感を同時に演出しているのです。お近くのお越しの際は是非お立ち寄りください。



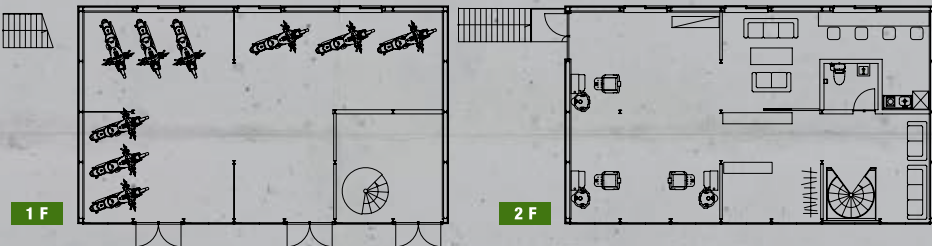
1Fバイクビルダーの工房&ショップ越しに建物外観を見る。1F店舗のライフスタイルイメージとメンズサロンの相乗効果は大切な要素。2Fの天井の鉄骨梁の連続性が、他にない店舗イメージを外部に表現します。屋上へ上がる階段室の突起も外観の印象の決め手。夜はらせん階段をライトアップします。



メンズサロンの内観CG。デイトナハウスの特長であるつや消し黒の鉄骨フレームを利用して、オリジナルのカット台を製作する予定です。鉄骨フレームの内部にはガルバリウムの壁面を施した逸品。グリーンとのコントラストも絶妙です。スパンを飛ばすためのトラス梁(ジグザグ鉄筋の梁)が、空間のアクセント。

FLOOR PLAN

7スパン×4スパンの均整のとれた空間を示す平面図。3スパン飛ばした柱の無いこの空間こそが鉄骨造の持ち味。基本2スパンしか飛ばせない木造建築ではこうはいきません。また、その空間を成立させるトラス梁は今はすっかり見受けられなくなりました。その手作り感覚が空間のアクセントになるのです。大量生産品にありがちな既視感を超越した、ハードボイルドなのにどこか優しい空間性。それが魅力なのです。



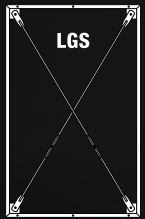
INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc.。建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田 敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk), Soma YOKOI



×
48
||
PANELS

Theme

男の身だしなみの発信基地 デイトナハウスでつくるメンズサロン

今静かなブームとなりつつあるメンズサロンやバーバー。
デイトナハウスの鉄の素材感なら、そのコンセプトを増幅してくれます。

男性でも美容院で髪を切ることが珍しくなくなった昨今なのですが、女性と並んでセット台に座るというのに抵抗のある人も多いことでしょう。そんな男たちの深層心理を反映して、ようやく男専門の美容・メンズサロンや、従来とは一線を画したバーバーなどが静かなブームになっています。今回は岡山県津山市に実際に計画中のメンズサロンをご紹介します。ながら、デイトナハウスが持つ鉄の素材感と日常の身だしなみの関係について考えてみたいと思います。

この店舗は、複合店舗です。1Fには男性のライフスタイルを進展させる業態の別のテナントを想定。今回の

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「C チャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

